

国務院全体会議

田中 修

はじめに

3月20日、新体制での第1回国務院全体会議が開催され、李克強総理が重要講話を行った。本稿ではその概要を紹介する（新華網北京電2013年3月21日）。

過去5年、胡錦濤同志を総書記とする党中央の指導の下、わが国の各種事業は顕著な成績を得た。前期政府は温家宝同志の指導の下、大量の仕事をなし、長足の進展を得た。これらはいずれも、今後の発展に良好な基礎を打ち固めた。

今期政府の任期は5年であり、わが国が小康社会の全面的建設に向けて邁進するのに決定的な意義を有する5年である。**我々が現代化目標により接近するとき、直面するリスク・試練もますます多くなり、更に大きくなる¹。**

我々は有利な条件を見て取るだけでなく、情勢の複雑性と任務の大きな困難性を見て取らねばならない。自信・勇気・知恵・粘り強さ・忍耐力をもち、勇気をもって仕事にあたり、共通認識をうまく凝集し、新たな政府の政策を真剣に責任をもってしっかり行なわなければならない。各民族・人民の信任・重大な負託を決して裏切ってはならない。

2013年の政策に関して、中央経済工作会議と政府活動報告は、全面的に手配を行った。**カギはこれをしっかり実施することにある。**今年の政策と今後の政策を結びつけ、現在に立脚するとともに長期に着眼しなければならない。

①引き続き経済を発展させる。

安定成長・インフレの防止・リスクのコントロールを成しとげ、経済の転換を促進し、成長の質・効率を確実に高め、中国経済のグレードアップ版を作り上げる。

②不断に民生を改善する。

基本的な民生の保障について、セーフティネットをしっかりと編み上げ、制度の欠陥を補い、全てオープンにし、人民大衆が安心して創業・就業できるようにする。

③社会の公正を促進する。

制度上、全ての人・企業のために公平な競争・公平な発展の機会を創造する。

④イノベーション型政府を建設する。

各部門はいずれも改革の措置を採用し、制度の刷新により、発展を推進しなければならない。

¹ ゴチックは筆者。

⑤廉潔な政府を建設する。

国務院が社会に対して承諾した「3ヵ条の約束」²を断固として実施し、勤儉な日々を送る。

⑥法治政府を建設する。

各種政策はいずれも法に基づいた行政でなければならない。科学的発展に符合せず、社会の公正を妨げる法規・政策・規則については、整理を進める。

今回の機構改革の程度は小さくない。改革案をしっかりと実施し、改革における各政策の「継ぎ目のない結びつき」を保証しなければならない。しかし、機能転換の任務は更に大きな困難が伴い、これは新政府がスタートしてまず最初にやらねばならぬ第1の仕事である。各部門は自覚的に行動し、期限どおりに機能転換の各任務を完成させなければならず、形式だけ変え実質をそのままにしてはならない。管理すべきでないミクロの事項は、断固として市場に解放し、社会に引き渡し、強化すべきマクロ管理は確実に強化する。事前の審査・許認可は多くを委譲し、実施途中・事後の監督管理・問責を実行させなければならない。これは、民間投資を促進し、雇用を拡大し、企業の競争力を高め、経済社会の活力を奮い立たせることにとって、いずれも「良薬」となるものである。

政府の政策をしっかりと実施するに際し、次の6点を要請する。

(1) 全局的な意識をもつ

各部門は、国家の命運・民族の前途・大衆の利益という高い見地から問題を考え、事務を処理しなければならない。このようにして得られた業績こそ長続きするのである。もし部門・局部の利益が牽引することになれば、全局に損害を与えるだけでなく、長期的に見れば部門にとっても不利となる。

(2) 中央・地方の2つの積極性を十分動員する

中央の政策は可能な限り地方の実際に符合させ、一律的な処置を減らすことにより、地方に施策展開の余地を与え、末端のパイオニア精神を更に好く発揮させなければならない。地方は全国的な見地から処理するという理念を強化し、党中央・国務院の權威を自覚的に守り、命令を必ず実行しなければならない。

(3) 大局を図る中で重点を把握する

各部門は、矛盾が最も集中し大衆が最も関心をもっている事柄をしっかりと把握し、国務院の政策の全局を踏まえて重点を際立たせなければならない。1年でいくつかのカギとなる問題を解決し、1歩1歩の積み重ねで千里に達し、人民大衆の心中に希望をもたらさなければ

² ①政府のオフィスビル・公会堂・ゲストハウスの新規建造禁止、②人員削減、③公費接待・公費海外出張・公費自動車購入の削減、を指す。

ばならない。

(4) 鋭意改革を進め長期有効なメカニズムを形成する

政策は「頭が痛ければ頭を治療し、足が痛ければ足を治療する」という対症療法ではなく、現在有用で長期にも有利な事をなさねばならない。体制メカニズムの役割発揮を重視し、メカニズムの確立は長期的方向に符合しなければならず、**今日制定したことを明日改めるようなことがあってはならず、今日の改革が明日の改革の障害となつてはならない。**

(5) 有限な金をメカニズムの確立・効率向上の方向に用いる

将来財政収入が引き続き高成長であることは難しく、しかも民生等の分野の支出は恒常的であり、即ち**金を最も肝心なところに使うことが要請される。**また「メカニズムの転換に金を用いる」ことを重視し、メカニズム建設に際しては可能な限り完備させなければならず、「断片化」させないことにより、わずかの努力で大きい効果をあげるようにしなければならない。公開・公平・公正に実施し、人民大衆の監督を受けることにより、腐敗を減少・回避しなければならない。

(6) 政府の信頼性・執行力・効率を不断に高める

政府の気風作りを強化し、クリーンで気風がよく、実のある仕事をやり、仕事ができるイメージを樹立しなければならない。このようにして政府ははじめて信頼性を得ることができ、人民は政府と一緒に堅塁を攻略し、困難を克服できるのである。**政府は言ったこととは実行しなければならず、「空砲を放って」はならない。**

国務院の行った決定は、必ず割引なしで執行されなければならず、決して都合で変更してはならない。各レベル政府は監督検査を強化し、実行されていないものは責任を問わなければならない、**何もしない「無気力な役人」になつてはならない³。**

我々は習近平同志を総書記とする党中央周囲に緊密に団結し、中国の特色ある社会主義の偉大な旗印を高く掲げ、鄧小平理論・「3つの代表」重要思想・科学的発展観を導きとし、着実に努力し、発奮して事をなし、政府の各政策を前進させ、人民に対し合格答案を提出しなければならない。

(3月25日記)

³ これらの一連の指示は、地方政府がいかにか中央の方針を軽視し、換骨奪胎して実行していないかを逆に示唆するものである。